

CFTニュース&息抜き（1月）

全日本コーヒー公正取引協議会（コーヒー公取協）に寄せられた問い合わせなどを、トピック形式で毎月リリースします。参考になれば幸いです。

1. 2025年12月の気になる問合せ

- (1) 現在、二次元バーコード（QRコード）を一括表示枠の左下に記載して販売している商品について、一括表示枠内にQRコードを記載するよう、求められました。一括表示枠内にQRコードを記載しても問題ないのでしょうか。

※添付資料参照（省略）

⇒ 現在の食品表示基準は一括表示枠内にQRコードを記載することは認めていません。一括表示枠外に記載してください。

2024年10月より消費者庁食品表示課は「食品表示へのデジタルツール活用検討分科会」を開催し、2025年11月に第7回を開催し、12月に「取りまとめ」を公表しています。

今後、分科会を終えて食品表示懇談会で二次元バーコード（QRコード）による表示事項が定まるのではないかと思慮します。消費者庁食品表示課によれば、表示事項の決定まで、2年程度時間を要するのではないかとのことです。いずれにしても、QRコード利用により消費者に多くの情報を提供することは大事だと考えています。

- (2) 当社（○△◇（株））は過去に○○コーヒーを買収し、当社の事業部門の一つとした。ただ、消費者やコーヒー業界には当社より○○コーヒーの方が知られているので、一括表示記載の製造者をこれまで「○△◇（株）」としていたが、「○△◇（株）（○○コーヒー）」としたいがどうか？

なお、食品表示責任者はこれまで通り「○△◇（株）」である。

⇒ 近年、コーヒー焙煎事業者の中には、焙煎部門を無くし、委託に置き換

え、製品販売を行う事業者が目立つようになってきています。

御社の質問は、コーヒー焙煎事業者を買収し、御社の一部門としてコーヒー販売を行っていたが、消費者等への知名度は買収先の方が高いので一括表示の製造者名を「○△◇（株）」から「○△◇（株）（○○コーヒー）」とし、御社の焙煎部門を表記した表示を行いたいとのことと理解します。その内容であれば、当該焙煎部門の名称を屋号と考え、食品表示基準 Q&A（加工—120；省略）に照らし、正式な法人名の後に括弧書きで表示することは可能です。

2. コーヒーを巡るいろんな状況

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

2026年は年明け早々、19世紀の帝国主義の世界に戻ったように感じました。強国が弱小の大統領夫妻を拉致し、当該国の資源を要求したり、他の領土を要求したりするのは、過去の歴史を学んだ21世紀にはないと思っていただけに驚きました。

拉致した国の大統領は他の国に対しても様々な攻撃（口撃）をしており、その中には大コーヒーランドもあるだけに心配です。就任1年記念のように某国の島を要求したり、諫める国々に關税を課したり、ノーベル平和賞を自分に与えなかつた報いなどと言うのは偉大な國の方とは思えません。マクロン大統領やファン・デア・ライエン欧州委員会委員長の横紙破りの方に対する姿勢は立派です。

お屠蘇気分の抜けない1月半ばに超大国の大統領が世界を不安に落とし込むのはCFT子の人生で初めてです。これから世界がどうなるか不安になります。

日本はコーヒーのほぼ100%をブラジルやコロンビアなどから輸入するほか、日本人の摂取する食料のカロリーベースでみると6割強を輸入に依存しています。日本の周囲は海で海上から輸入するほかありません。我が国の食生活は平和維持が前提でなされていると言って過言ではありません。何とも憂鬱な思いに捉われる2026年初です。コーヒー業界の先人は戦中・戦後コーヒー豆の確保に大変な苦労をしています。このようなことにならぬことを祈念しています。（全日本コーヒー商工組合連合会の30年史を読んでください。）

先日、新幹線に乗っていましたが、昔のようにコーヒーを飲む乗客は殆ど見なくなりました。車内販売の廃止もあるのでしょうか、駅弁を召し上がる方も少なく、御握り、サンドイッチなど軽いもので済ませているようです、かく言うCFT子もサンドイッチに缶コーヒーでしたが、缶コーヒーの価格が上がっているのに驚きました。コーヒー豆のC I F価格が大幅に上昇した影響でしょう。可処分所得が減少する日本では当然の消費者対応ですが、寂しい気持ちになります。財

政赤字の拡大に伴い国内金利は上昇し、円はドルを始めとする通貨に対し安くなっています。コーヒーは国際相場が12月から下落基調ですが、円安などが相殺しそうで心配です。

いずれにしても、気持ちは明るく前向きに進むしかありません。

(2026年1月22日記)